

特集 細川コレクション

南蛮文化と 細川家

一忠興とガラシャ、異国との出会い

桃山時代から江戸時代初期、南蛮貿易によって新しい文化が日本にもたらされました。この異国情緒あふれる文化のことを特に「南蛮文化」といい、武将も庶民もこぞって憧れました。本展では、南蛮貿易によって細川家にもたらされた文物やガラシャ書状、ローマ字印をもちいた^{ほそかわただおき}細川忠興や、息子・^{ただとし}忠利の書状などを紹介します。



重要文化財《洋人奏楽図屏風》右隻（部分）桃山時代(16～17世紀)
永青文庫所蔵(当館寄託)

また、日本人絵師によって描かれた西洋風の絵画《^{ようじんそうがくず}洋人奏楽図^{びょうぶ}屏風》（重要文化財）を特別展示します。ぜひ、この機会に「異国との出会い」お楽しみください。

県立美術館本館【別棟展示室】

10/10（土）～

12/23（水・祝）まで。



日本遺産認定記念

ほとけの里と 相良の名宝

人吉・球磨の歴史と美



本展は平成27年4月に人吉球磨地域が「日本遺産」に認定されたことを記念し、地元自治体等と共催する初めての試みです。球磨地域は、中世の仏教美術が栄えた「ほとけの里」であり、相良家が700年にわたり領主であり続けた珍しい地域です。会場には多彩な仏教美術作品を一堂に展示。ゆかりの歴史資料により、相良氏の球磨入部から関ヶ原合戦に至るまで、動乱の歴史をたどります。

県立美術館本館【2階展示室】

10/14（水）～11/29（日）まで。

- 観覧料 「南蛮文化と細川家」 一般210円(160円)、大学生130円(100円)
「ほとけの里と相良の名宝」 一般 1,000円(800円)、大学生700円(500円)

※高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方無料。()は20名以上の団体料金。

- 講演会やワークショップなど、関連イベントも多数開催。詳しくは当館ホームページをご覧ください。<http://www.museum.pref.kumamoto.jp>



KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

熊本県立美術館

■TEL 096-352-2111 FAX 096-326-1512

■開館時間 9:30～17:15(入館は16:45まで)

■休館日 月曜日(祝日の場合開館、翌日開館)

※公立学校共済組合員証をご提示ください。組合員本人様は1回に限り観覧料が全額助成されます。